

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(平成25年度に実施する施策)

政策目標9 科学技術の戦略的重点化

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)／活動指標(アウトプット)
1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組 研究振興局 ライフサイエンス課 (同局研究振興戦略官) 【施策の概要】 「生命現象の統合的理解」を目指した研究を推進するとともに、「先端医療の実現のための研究」等の推進を重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。さらに、生命倫理問題等が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に対し、研究の進展状況を踏まえた施策への反映、研究者等への法令等の遵守の徹底等を通じ、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和を目指す。	1 蓄積された知見、技術を活用し、医学・薬学への貢献、産業応用に向けて生命現象がさらに解明される。	【成果指標(アウトカム)】 ① 成果の活用状況 (実績:活用事例/目標:蓄積された治験、技術の医学・薬学への貢献、産業応用)
	2 革新的がん医療技術に関する研究などを通じ、先端医療の実現に資する知見の蓄積、技術の開発、またそれに必要な環境が整備される。	【成果指標(アウトカム)】 ① 次世代がん研究戦略プロジェクト採択課題のうち、前臨床もしくは臨床研究段階へ移行した有望なシーズ数 (23年度実績:0件/目標:27年度・39件) ② 分子イメージング研究戦略推進プログラム採択課題のうち、臨床に向けたPOC(Proof of Concept)の取得数(件) (23年度実績:0件/目標:26年度・8件) ③ iPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行 (23年度実績:0件/目標:平成25年度・体性幹細胞を用いた研究の臨床研究への移行、平成29年度・iPS/ES細胞を用いた研究の臨床研究への移行)
	3 新興・再興感染症克服技術など、社会の安全・安心の確保に必要な知見の蓄積、人材の養成等が図られる。	【活動指標(アウトプット)】 ② 事業に参画した研究人材の数 (23年度実績:114(累積)/目標:毎年度・前年度比増)
	4 研究の発展・動向を踏まえ、生命倫理に関する法令・指針に基づいた規制を適切に実施する。	【成果指標(アウトカム)】 ① 指針の違反件数 (23年度実績:0/目標:毎年度・指針違反事案が発生した場合は適切に処理する。)
	5 被災地域の医療復興に貢献すると共に、予防医療・個別化医療等の次世代医療実現に資する知見の蓄積、技術の開発、またそれに必要な環境が整備される。	【活動指標(アウトプット)】 ① 東北地区における健康人コホートの協力者の数 (23年度実績:-/目標:25年度 9,000人 (28年度中に15万人))

達成手段				達成手段の概要	行政事業レビューシート番号	関連する指標	担当課
達成手段(事業・税制措置・諸会議等)	23年度補正後予算額(千円)	24年度補正後予算額(千円)	25年度当初予算額(千円)				
ライフサイエンス研究開発推進経費	40,275	39,378	36,036	ライフサイエンス分野の研究開発の推進全体に必要な経費及び、生命倫理・安全対策に関する諸問題に対する調査検討及び法令に基づく審査等を実施する。	0233	4-①	研究振興局ライフサイエンス課
再生医療の実現化プロジェクト	3,800,000	6,493,015	平成25年度予算より独立行政法人科学技術振興機構運営費交付金に移管	iPS細胞は、再生医療・疾患研究等に幅広く活用されることが期待される我が国発の画期的成果であり、この研究成果を総力を挙げ育てていくため、オールジャパン体制のもと戦略的に研究を推進。関係省との協働により、切れ目無く実用化に向けたシーズを発掘し、早期の再生医療の実現を図るとともに、iPS細胞を活用して難病・疾患研究や創薬を推進する。	0234	2-③	研究振興局ライフサイエンス課
脳科学研究戦略推進プログラム	3,590,000	3,487,372	3,488,469	「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、社会への応用を明確に見据えた脳科学研究を戦略的に推進。「ブレイン・マシン・インターフェース(BMI)技術を用いた精神・神経疾患等の克服に向けた研究」、「霊長類モデル動物の普及体制の整備」、「社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発」、「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子」、「精神・神経疾患の克服を目指す研究」及び集約的・体系的な情報基盤の構築」に関する事業を実施。	0236	1-①	研究振興局ライフサイエンス課
革新的細胞解析研究プログラム(セルイノベーション)	880,000	852,000	771,742	遺伝子の働きの変化や細胞内の情報の伝わり方などについての解析等による、細胞・生命プログラム解読に向け、革新的な解析能力を持つシーケンス拠点並びにデータ解析拠点の重点的な整備とこれら2拠点を利用した先導研究を一体的に推進。	0237	1-①	研究振興局ライフサイエンス課
感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	1,722,000	2,021,552	1,719,294	感染症が人類に対する脅威となっていることに鑑み、これまでに整備した新興・再興感染症研究拠点の更なる充実・強化を図ることにより、継続的な研究活動を進める基盤を確立する。また、国内外の研究機関との連携を深め、感染症対策に資する知見の集積、人材育成等を行うことにより、国際貢献を果たしつつ、日本国民ひいては人類の健康と安全を守ることに寄与する。	0238	3-①	研究振興局研究振興戦略官付

分子イメージング研究戦略推進プログラム	500,000	499,802	499,815	生体内分子の機能や投与薬物の動態などを生物が生きたままの状態画像化する分子イメージング技術を活用し、創薬プロセスの革新及び疾患診断の高度化等を図る。	0239	2-②	研究振興局研究振興戦略官付
オーダーメイド医療の実現プログラム	1,560,000	6,780,000	1,429,683	がん・生活習慣病等の国民の健康に特に影響を与える疾患について、全国57病院の協力によるオールジャパン体制で関連遺伝子の探索・解明等を行い、個人個人に最適な予防・治療を提供することを可能とする医療の実現を目指す。	0240	2-①、②	研究振興局研究振興戦略官付
次世代がん研究戦略推進プロジェクト	3,600,000	3,635,502	3,628,973	次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速する。	0241	2-①	研究振興局研究振興戦略官付
東北メディカル・メガバンク	15,768,000	5,606,500(復興特会(復興庁))	4,234,516(うち復興特会(復興庁)3,935,516)	被災地域の医療復興に大きく貢献する予防医療・個別化医療等の次世代医療実現のため、ゲノムコホート研究(遺伝情報を含む長期疫学研究)等を実施。	0247	5-①	研究振興局ライフサイエンス課復興庁

(参考)関連する独立行政法人の事業

事業	23年度補正後予算額(千円)	24年度補正後予算額(千円)	25年度当初予算額(千円)	達成手段の概要	行政事業レビューシート番号	関連する指標	担当課
独立行政法人放射線医学総合研究所運営費交付金に必要な経費	<11,124,347>の内数	<12,095,058(うち復興特会(文科省)1,430,203)>の内数	<10,289,482(うち復興特会(復興庁)571,953)>の内数	放射線利用と放射線規制科学を総合的に推進することにより、放射線医学に関する科学技術水準の向上を目指す。 (1)放射線のリスクを計る「放射線安全研究」 (2)万が一の原子力災害で国民を被ばく事故から救う「緊急被ばく医療研究」 (3)他の治療法では治療が困難ながんを炭素線ですす「重粒子線を用いたがん治療研究」 (4)体を傷つけずに放射線で生命活動を見る「分子イメージング手法を用いた疾患診断研究」	0242	1-①	研究振興局研究振興戦略官付
独立行政法人放射線医学総合研究所施設整備に必要な経費	<1,748,000>の内数	<3,910,000(うち復興特会(文科省)1,000,000)>の内数	345,000	(独)放射線医学総合研究所の業務を実施するうえで必要な施設の設置又は改造に要する費用を補助する。	0243	1-①	研究振興局研究振興戦略官付
独立行政法人理化学研究所運営費交付金に必要な経費	<58,377,907>の内数	<58,076,117>の内数	<61,082,959>の内数	○脳科学総合研究事業 我が国の脳科学を総合的に牽引する中核的研究機関としての役割を果たすとともに、分子から神経回路を経て心に至る脳の仕組みを解明し、脳・神経に係る疾患(社会的に重要な精神・神経疾患等)のメカニズムの解明を目指す研究を推進する。 ○発生・再生科学総合研究事業 発生・再生現象の総合的理解に向けた研究を推進するとともに、画期的な移植材料を用いた高度な再生医療を可能とするため、iPS細胞等の幹細胞から多様な立体器官を試験管内で産生する基盤技術体系の確立と、そのために必要となる器官構築の動作原理の解明を目指す。 ○生命システム研究事業 生命の最小単位「細胞」の理解を軸に、複雑な生命システムを理解する新しい概念の創出を目指し、「最先端計測」・「高性能計算」・「機能デザイン」を循環的に機能させる生命動態システム科学研究のアプローチで最先端技術の開発と先導的研究を推進する。 ○統合生命医科学研究事業 コホート研究の成果等を活用し、疾患発症プロセスの解明等個別化医療の実現に向けた研究開発を実施する。具体的には、疾患発症プロセスをゲノム多様性に基づくヒト疾患多様性と時間軸で解析し、数理科学の手法を用いて疾患の発症予測に資するバイオマーカー等を同定する。これに基づき発症リスク予測法の確立や予防・治療法の開発を目指す。 ○創薬関連研究に関する連携促進事業 理化学研究所が有する高度な技術基盤を横断的に活用し、アカデミア等による優れた基礎研究の成果を実用化につなげるための研究を包括的に支援することにより、革新的な創薬や医療技術の創出を目指す。 ○ライフサイエンス技術基盤研究事業 ライフノバケーションの推進のため、構造・合成生物学研究、機能性ゲノム解析研究及び生命機能的イメージング研究の卓越した技術を先鋭化し、それらを融合することにより、生命を営む分子の機能を、原子、細胞、器官・個体レベルで計測・解析する次世代のライフサイエンス研究に資する技術基盤を創出する。また、それを活用して創薬関連研究等の取組を支援する。	0195	1-①	研究振興局ライフサイエンス課
独立行政法人科学技術振興機構運営費交付金に必要な経費 再生医療実現拠点ネットワークプログラム	平成25年度予算より独立行政法人科学技術振興機構運営費交付金に移管	平成25年度予算より独立行政法人科学技術振興機構運営費交付金に移管	8,993,067	疾患・組織別に再生医療の実用化研究を実施する拠点や、効率的かつより安全なiPS細胞の樹立に資する基礎・基盤研究を実施する拠点を整備し、拠点間の連携体制を構築しながらiPS細胞等を用いた再生医療・創薬研究をいち早く推進する。		2-③	研究振興局ライフサイエンス課